

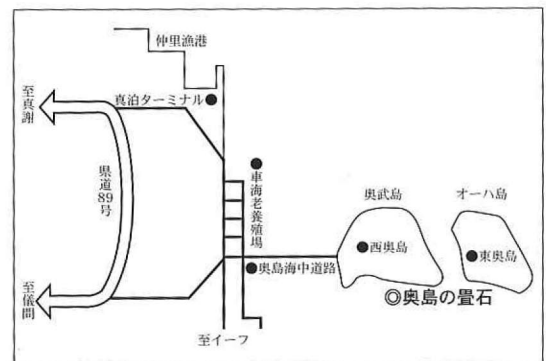


久米島町奥武島の畳石

指定名称 くめじまちょう おうじま たみいし
 久米島町 奥武島の畳石
 (国指定天然記念物)
所在地 久米島町字奥武島西南海岸
 170地先
指定年月日 平成26年 7月29日
所有者 久米島町

久米島町奥武島海岸にある六角状の岩石群。畳石は、安山岩質のほぼ均一な溶岩がゆっくり冷えて岩石になる時に、規則的に割れ目が出来たと考えられる六角柱状節理である。

この六角柱の大きさは、溶岩の厚さに比例するといわれ、ここの畳石は比較的長く約100mのものと推定されている。表面は波の浸食を受け、ほぼ平坦であり、あたかも六角の畳を敷き詰めたような景観を示すことから畳石の名が付いている。また、節理が作る模



様の形から、別名亀甲石ともいう。その範囲は限りなく、砂丘や風化土壌（耕作地）の下に埋もれている。このような柱状節理は全国的に珍しい。